

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	沼津市		代表者名	頼重 秀一	
担当者部署	政策推進部		連絡先電話番号	055-934-4816	
担当者役職	主事	担当者氏名	大胡田 悠希	連絡先E-mail	
住所	410-8601 静岡県沼津市16-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	業務ごとの課題や今後考慮すべき点等についての的確なアドバイスをいただくことで、理解を深めることができたと感じたため。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年2月14日	講演	有	令和5年9月25日	923
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月16日	講演	10時00分	11時00分	0
				活動時間（分）	60

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	13人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自治体情報システムの標準化・共通化はこれまでのシステム移行とは異なっており、国から様々な仕様書や手順書等が出されているが、その解釈等に苦勞している。今年度、Fit&Gapなどを進めているが、より効果的に進めるため、専門的な立場からアドバイスをいただきたい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	自治体情報システムの標準化・共通化を進める上でのアドバイスをいただき、より効果的・円滑にシステム移行を進めていきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	プロジェクト管理をする上で、QCD（品質、コスト、納期）をどのように考えるか、また、自治体が最低限やらなければならないこととして、調達仕様書の作成方法などについてアドバイスいただいた。その他、移行困難システムが発生する場合の対応などについても助言いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	改めて標準化の本質について理解を深めるとともに、質疑応答の中で個別の課題についても助言いただくことで、令和6年度以降の取り組みの参考とすることができた。また、移行困難システムについては、今後方針を決定する際の考え方などを整理することができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 業務多忙のため、行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

